

## 令和 2 年度 自己点検の自己評価

久米田看護専門学校の自校における自己点検を令和 2 年度にはじめて実施した。十数年前にも自己点検を行ったことがあるが、自己評価の内容を公表するまでには至らなかった。また、自己点検・自己評価を行うことが必要と言われていたころに、各校内に当校の教育理念、教育方針を各教室や玄関などに明示するようにした。しかし、その後、教育課程を遂行するだけになり、自己点検・自己評価も諸規定の中に組み入れていたが、このような学校関係者評価にまで至ることもなかった。また、この新型コロナ感染の流行で計画倒れで終わってしまっていたのが現状である。

今回、このようにこの会の開催に至ったのは、この感染の終息を待ってはいは、この会が進まず、目的である学校運営の公表がますます遅れていき、法令での違反にもなってしまふ恐れがあり、このような緊急事態宣言ではあるが実施する運びとなった。自己点検については、令和 2 年の初めごろに 12 名の教員に実施した結果と、その結果から自己評価についての報告である。

**全体を通じて**、VIの教育環境、VIIの学生の募集と受け入れ、Iの教育理念・目的・育成人材像の平均値が高く、VIIIの財務、Xの社会貢献・地域貢献が低い値を占めている。

これは、直接教育の中にかかわることについての関心さと相関しているように思える。特に、VIIIの財務については、直接教育に関連することが少ないことから関心も乏しく、低地を示していると考ええる。

各項目の詳細で見ていくと、

**I の教育理念・目的・育成人材像**については、玄関先や各教室での教育理念についての意識が、目に見えていることで意識していることで 3.1 となっている。育成人材像としての理想はあるが、教育している今がほとんどであり、育成する人材像を考えるまで至っていない。

**II の学校運営**では、学校運営のための組織としては、教務事務等や専任教員だけでなく、実習指導教員が組織化され整備されている。また、各会議等の議事録の作成をしている等の運営に関して身近な運営項目の内容もあり 3.0 となっている。

**III. 教育活動**では、教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているでは 3.1、学科ごとに修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているが、3.0 である。資格・要件を備えた教員を確保しているか。教員の資質向上への取り組みを行っているかでは、3.1 で国家試験対策など外部から教員を確保していることから 3.1 となっている。

**IV. 学修成果**では、資格・免許取得率の向上が図られているかでは、3.4 と高値を示している。これは、教員全員が資格取得に向けて取り組んでいる姿勢からと思われる。

**V. 学生支援**では、学生の健康管理は 3.5 と高値であり、毎日の検温、実習前の検温などの健康管理を精力的にしている。学生相談については、3.2 であり、各学年担当制によって、

学生の意見が聞けるような体制で支援ができていると思われる。

- VI. 教育環境**では、施設などが整備され、防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているでは、3.0となっている。しかし、学内の安全管理体制の整備は2.2と低値であることから、病院施設で働く学生に対しては、学内で意識化させていくためにも、整備していく必要がある。
- VII. 学生の募集と受け入れ**では、高校への情報提供や募集活動は、学校訪問、学校説明会に参加していることもあり、3.3である。ただ、入学選考に関する実績を把握し、授業改善等には活用しているかでは、1.9と低値で、入学選考の実績を把握できていないのが現状である。
- VIII. 財務**では、全体的に1.43であり、市立学校及び寄付行為に基づき適切に監査を実施しているなどは、1.1で全く監査等行っていない。また学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているのかまで把握できず、1.7と低値である。特に学校は、法人との交流などがないこともあり、財務についての関心さも乏しい現状である。
- IX. 法令等の遵守**については、全体的には2.04と低い値である。日頃から法に触れての運営にはならない。しかし、学生への対応や保護者からの意見などは、教員間で話し合い、再び同じことが起こらないようにしている。
- X. 社会貢献・地域貢献**では、全体的に1.9と低値であり、サンガーデンなどからのボランティアの依頼がないので、ボランティアを推進する機会も乏しくなっている。今後は、ボランティア等も学生に紹介し、地域貢献できる機会を持てるようにする。